

# 令和6年度 景気動向アンケート調査集計(R6年10月～12月)

## 1. 調査の概要

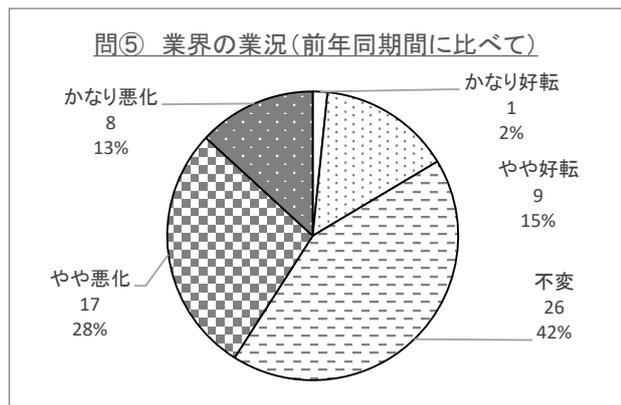
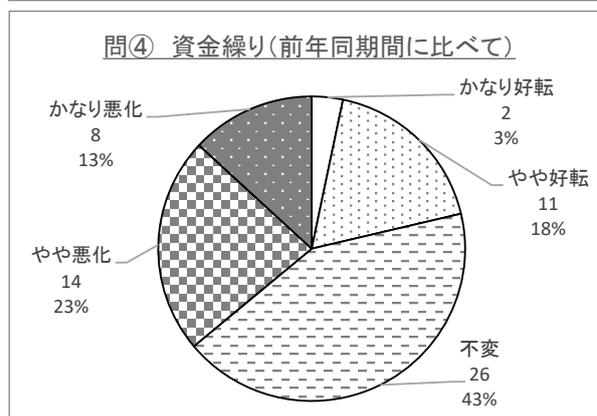
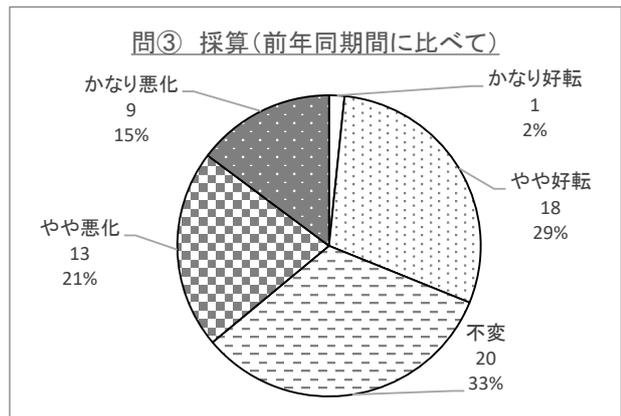
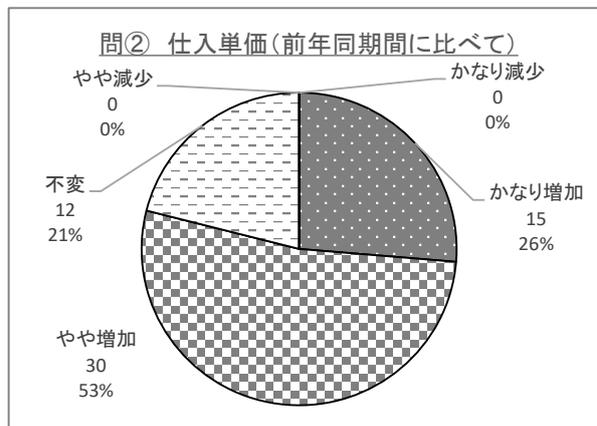
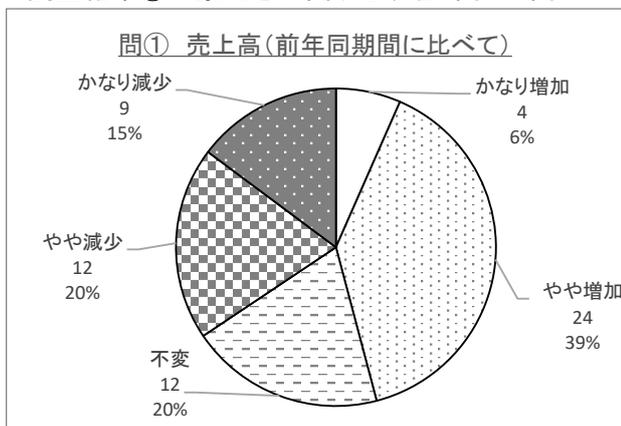
調査目的 : 第3期春日市商工会経営発達支援計画(令和5年3月認定)に基づき、会員事業者の景気動向を調査し、地域中小企業の状況を的確に把握した効果的な経営支援を実施すること、また、地域ニーズに応じた地域活性化事業検討の参考とすることを目的とする。

調査方法 : 連絡手段がメールとFAXで登録されている会員事業者を対象に調査を依頼。

実施期間 : 令和7年1月30日～令和7年2月14日

回答数 : 61事業者

## 2. 調査結果①…景況感に関する項目(問1～問5)



	かなり増加	やや増加	不変	やや減少	かなり減少	D.I
①売上高	4	24	12	12	9	11%
②仕入単価	15	30	12	0	0	79%

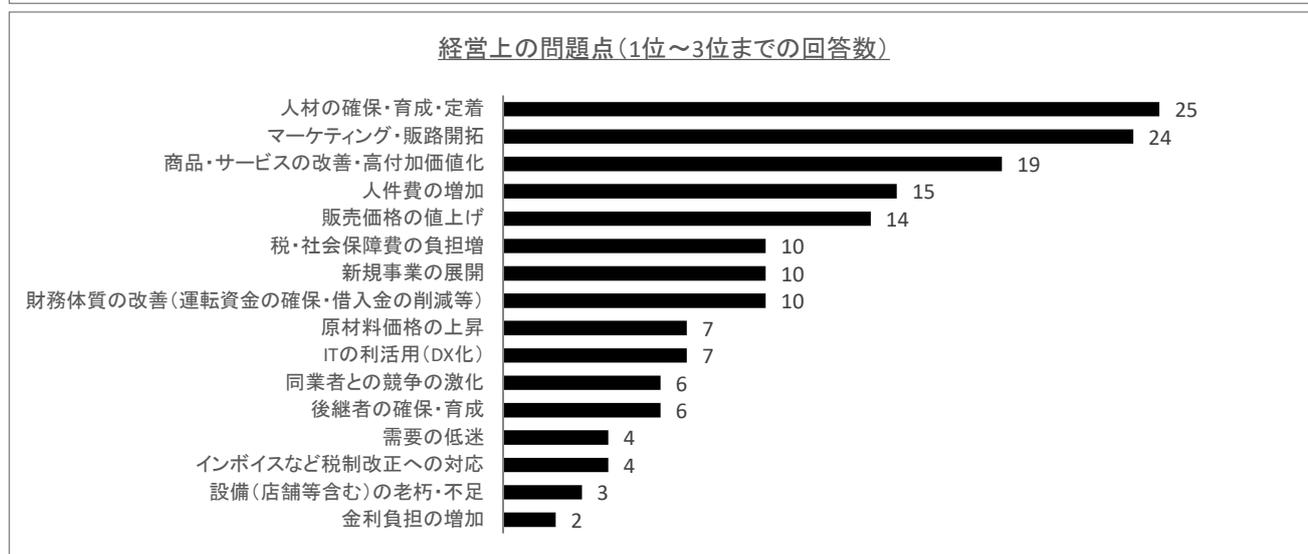
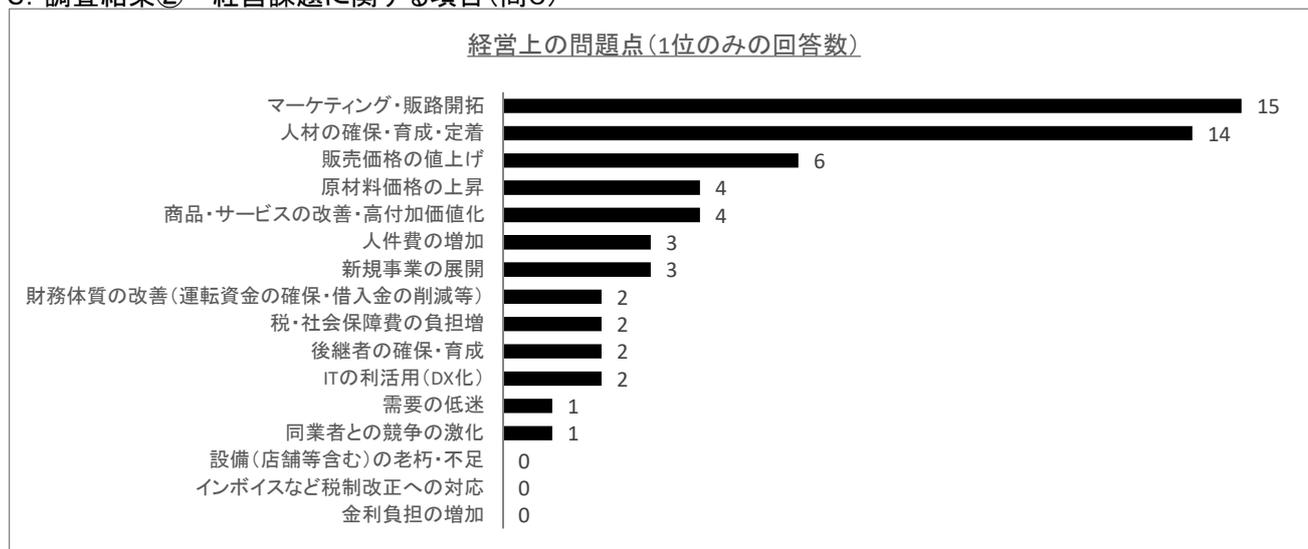
  

	かなり好転	やや好転	不変	やや悪化	かなり悪化	D.I
③採算	1	18	20	13	9	-5%
④資金繰り	2	11	26	14	8	-15%
⑤業界の業況	1	9	26	17	8	-25%

【D.I】  
 企業の業況感などの判断を指数化したもの。各設問につき5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答者数を集計し、全回答者数に対する構成比を算出した後、次式により算出する。  
 $D.I = 「選択肢(かなり増加)の構成比 + 選択肢(やや増加)の構成比」 - 「選択肢(やや減少)の構成比 + 選択肢(かなり減少)の構成比」$

- 売上高について、前回調査結果では32%の事業者が増加したと回答していたが、今回は45%となり、+13ポイントとなった。しかし、売上が減少したと回答した事業者も35%となっており、前回調査結果から-4ポイントとなった。D.I値としては前回調査結果から+11ポイントとなっている。仕入単価については、増加が79%と高止まりしており、物価高の影響が続いていることがうかがえる。
- 採算においては、悪化したとの回答が36%(前回37%)となった。一方で好転したとの回答は31%(前回21%)となり、好転したと回答した事業者の割合がやや増えた一方で、悪化したとの回答も依然として多い状況。
- 資金繰りにおいては、悪化したとの割合が36%(前回29%)と、-7ポイントとなったが、好転したと回答した事業者の割合が21%(前回9%)となった。改善傾向が見られるものの、悪化したと回答した事業者も少なくない状況。
- D.I値の分析においては、前回調査から、採算(+11ポイント)と資金繰り(+6ポイント)については良化しているが、業界の業況については、-25ポイントと厳しい状況が続いている。

### 3. 調査結果②…経営課題に関する項目(問6)



- 1位のみ)の回答数で、前回は「原材料価格の上昇」が最も多い回答だったが、今回は「マーケティング・販路開拓」が最も多くなった。また、「人材の確保・育成・定着」を最も必要な課題と回答される事業者の割合も引き続き多くなっている。全体については、今回も「人材の確保・育成・定着」が最も多くなっている。
- 前回の調査結果と同様に、「人材の確保・育成・定着」「マーケティング・販路開拓」「販売価格の値上げ」が上位を占めていることから、多くの事業者が人手不足、物価高騰、販売価格への転嫁の難しさ、顧客ニーズの変化といった複合的な課題に直面していることが明らかとなった。